

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 19 日(火) 18 時 00 分～19 時 40 分		
開催場所	井野まちづくりセンター	参加人数	20 人
出席議員	笹田副議長 森谷議員 沖田議員		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ - 井野では自主防災組織は設立していないが、まちづくり推進委員会の防災部会がその役割を担っており、センターの備蓄倉庫に簡易テント、簡易トイレの備蓄を自主的に行っている。 - 指定避難所は井野まちづくりセンターになっているが室谷地区は一山超えてたどり着く必要がある。室谷地区には避難所がないので早めに避難する必要がある。避難所までの距離については室谷地区に限ったことなく、ほとんどの地区が同様に早めの避難が求められている状況にある。 - 井野地区においての避難行動は早めの対応が求められている。先達からの言い伝えや過去の災害から教訓や知識はあるが情報が重要。 - 下山自治会では各班で非難する場所を決めており現在は「みのり会館」を避難所としている。 要支援者の避難については近所同士の話し合ったうえで自主的に対応するようにしている。 - 過疎地域における防災、避難行動は都市部とは大きく異なる。資料にある避難行動計画や各地区で行われている防災活動は都市部を対象に考えられたものであり過疎化が進む地区には馴染まないように思う。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと 移動手段について、地域支え合い制度についての意見のため総務の方へ記載。		

	【産業建設委員会】100年先に残したい浜田の食 ・ うずめ飯は仏事の際に食べる。 ・ 井野地区で栽培されるお米は美味しいので「残したい食は井野で栽培されるお米」あと、蕎麦の栽培にも適している
自由意見	【総務委員会】 ・ 地域支え合い制度を活用しているが制度の縛りが厳しい。まず、70才以上が対象。さらに独居世帯と言う縛りは見直してほしい。 ・ 利用者が多く現状の予算額では到底足りない現状であり春と秋の2回に分けて草刈りを行う計画を立てていたが春か秋の1回しか使えない状況にある。 ・ 買い物、通院は「いのっち号」を利用している。利用者は月平均、約40名が利用している。民間路線バスと路線が重ならない運行が条件であることに不便は感じているが地域にとって必要な移動手段である。 ・ ひゃこるバスは便数が少ないので利用は少ない。 (子どもや高齢者の困りごとで出た意見) ・ 井野地区は医療センターへの通院で片道5～6,000円のタクシー代金が必要になるので敬老乗車券の購入設数を増やしてほしい。 ・ 補助金制度の補助で賄えない自己負担部分は過疎地域にとって大きな負担になっている。総合交付金も人口規模に応じた交付額になっている。過疎地域への配慮も検討してほしい。 ・ 100円タクシー制度は便利そうだけど、皆さん知らないので積極的に周知したほうが良い。 ・ 毎月膨大な量の印刷物が回覧されるが本当に回覧される世帯が読み込んでいるのか疑問に思う。 【文教厚生委員会】 特になし

	【産業建設委員会】 ・ 小規模農家は今ある機会が壊れれば農業が続けられないことが現実。農機具購入の補助も必要であり重要であるが機会にも限界がある。真の持続可能な農業とは人と人のつながり助け合いに勝るものはない。 ・ 三隅地区の道路維持管理や支障木の伐採予算が年々少なくなっているように思える。全市的に多くの要望があり順番待ちと言う事情も理解するが、旧市内の人口規模が多い地域においては過疎地域では修繕しない程度の道路等の修繕も行われているように思える。 ・ 暗くなると熊が出るので早めに終わってほしい。 (この意見を以て 19 時 40 分に終了)
--	--

令和 8 年 5 月 15 日 沖田真治